

【様式第1号】

宇部市新天町リボーンプロジェクト事業 提案応募用紙

住所
氏名（団体名）
連絡先

業種	駄菓子屋・地域交流スペース
営業日時 (想定)	月曜日から土曜日 (月曜日から金曜日 15:00-19:00、土曜日 10:00-16:00)
コンセプト・ 事業概要	<p>(事業・店舗のコンセプトや具体的にどういった事業をそこで行うのか(例えば飲食店なら提供するメニュー等)などを詳しく記載ください。)</p> <p>滞在スペースを設けた駄菓子屋を事業として新天町で展開する。 コンセプト: #放課後ここに集合!!毎日にドラマチックな発見を 活用店舗: 旧てんぐ屋(開放的な外装になっており訪れた人がふらっと立ち寄りやすい) 店内の内装: ドラマに出てきそうなレトロな雰囲気のだ菓子屋 店内設置物: ・黒板(自由に絵や文字を書く)⇒意見共有の機能 ・椅子(普段は椅子のみ) ・折り畳み式テーブル(テスト週間に設置) ・駄菓子販売(商品棚は移動できる: 店内のレイアウトを変えやすくする) ・レトロな自動販売機(コカ・コーラ復刻自販機) ・ゴミ箱 ・ガチャガチャ</p> <p>「毎日にドラマチックな発見を」してもらうために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計 50 種類以上の駄菓子を販売 ・営業日に毎回来ってもらうために 1 週間ごとに駄菓子のラインナップを変える ・普段は学生が座れる椅子のみを設置するがテスト週間あたりになると店内のレイアウトを 変更し駄菓子を食べながら勉強ができるように折り畳み式テーブルを設置する。 ・訪れた人がアイデアを出し合い、共有ができるように毎週、店内に設置する黒板にアイデアテーマを設定し、宇部市のまちづくりに活用する。(例: 宇部にあったらいいなと思う 秘密道具、宇部市の好きな場所等)

事業効果等	<p>(その事業を行うことが、どのようににぎわい創出につながるのか、若者が集う理由や周辺への影響の広がりなどを詳しく記載ください。)</p> <p>駄菓子屋を行うことがどのようににぎわい創出につながるのか</p> <p>☆放課後の学生(主に高校生)を対象とした居場所づくりを事業化することで若い世代が新天町に集まり、同世代の学生たちが交流することができる。</p> <p>☆これからの宇部市を担っていく若者が育っていく拠点になるだけでなく、若い世代が新天町に集まることで中心市街地が若者の活気が溢れることでにぎわい創出につながる。</p> <p>◎この事業に若者が集う理由は2つある。</p> <p>1つ目は今の高校生は放課後に集まれる場所を欲しているが宇部には放課後学生が集まれる場所が少ない。そのためスターバックスやマクドナルド、カラオケなどに集まっていることが現状として挙げられる。よって、学生の放課後集合できる場所を創り出すことは学生にとって需要があると考え。</p> <p>2つ目は放課後にスターバックスやマクドナルド、カラオケに行くよりも安価で学生に居場所を提供することができる。また駄菓子は学生にとって手に取りやすくどこか懐かしさを感じ、その懐かしさが新天町とマッチする。そして、一週間ごとに商品のラインナップを変えたり、テスト期間中は机を設置して勉強スペースにしたりすることで、学生のニーズに柔軟な対応ができるお店を創り出すことができ、学生が飽きずにお店を訪れると考える。</p> <p>学生が新天町の真ん中にある旧てんぐ屋に集合し、近くにポスティービルドの若者ふりスペースに訪れたり、ときわ通りを歩いたりして、宇部市の地域の力を学生が発見する。また新天町旧てんぐ屋を拠点に学生たちが楽しみながら宇部の街づくりについて考えたり、実際にアイデアを共有したりすることができることで宇部市に親しみを持つことができるなどの影響を生み出すことができる。</p>
-------	--

※パース図など、建物や事業の様子がイメージできるものを作成し添付してください。(様式は任意とします。)

馬太菓子屋 店内図 (旧てんぐ屋)

